

まとめ：ワークショップ全体総括

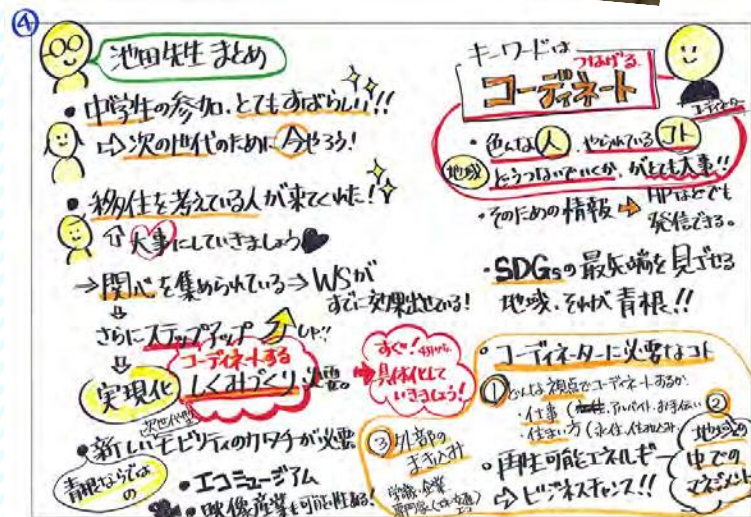
いけだ かんじ
法政大学多摩地域交流センター長 池田寛二先生

キーワードは『コーディネート～地域をつなぐ～』！

9月から全4回のワークショップを通じて、参加者の方には毎回活発に議論をしていただき、たくさんのアイデアを19の企画案として取りまとめることができました。

今回まとめられた全ての企画をみると、「コーディネート・つなぐ」というキーワードが浮かび上がってくると思います。ヒト、モノ、地域、世代など様々な要素をつなぐことで、素晴らしい青根地域ならではの企画となっていました。中でもコーディネーターという役割については、今後のまちづくりを推進する上でとても重要な仕組みであると感じました。地域内の人やビジネス、住まい、外部とのつなぎ役、他分野とのつなぎ役など様々な可能性が広がると思います。

できることから徐々にステップアップしながら、具体的に取り組んでいきましょう！



参加者の感想（アンケートより抜粋）



みなさんどうもありがとうございました！

- ◆ これで終了ではなくスタートライン。10数年後の青根の姿を楽しみにしています。
- ◆ 地域の持続可能な振興のためには、ワークショップが第一歩。今後は住民とまちづくり検討委員会が一つになり、自分たちのまちづくりのために、労を惜しまない努力が必要。そこに外部の、特に若者の力を加えた組織づくりが求められる。
- ◆ 4回に渡り青根地域のこれからの熱い議論が交わされた。この熱い思いをいかに実行に結び付けられるのか責任と姿勢が問われている。次世代のためにどのような地域を残せるのか責任は重い。地域のために微力を尽くしたい。
- ◆ 旧青根中学校の施設活用でテレワークが早く実現できる様に動いてほしい。

アンケートへのご協力ありがとうございました！

相模原市 緑区役所
区政策課 TEL：042-775-8802
青根出張所 TEL：042-787-2511

メール：g-kuseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

お問い合わせ

ニュース
第4号！

緑区中山間地域振興モデル事業

2021年3月発行

青根のまちづくり検討委員会×法政大学多摩地域交流センター×相模原市

青根地域のこれからを 話し合おう

～第4回ワークショップのご報告～



令和3年3月28日(日)「今年度検討の確認と、青根地域をもっと面白くする企画を発表し合いましょう！」をテーマに第4回ワークショップを開催しました。9月から3回にわたり皆さんと検討してきた内容を企画案としてまとめ発表し合い、これからの青根地域での実際の取り組みへとつなげる、まとめの回となりました。

中山間地域振興モデル事業の目的

緑区基本計画（令和2年3月策定）に基づき、中山間地域の人口減少への対策や地域振興を推進し持続的なまちづくりを進めるため、青根地域をモデル地区として決めました。今年度は青根地域の資源や特性について再認識し、地域において今、何ができるかを考える場として全4回のワークショップを開催しました。

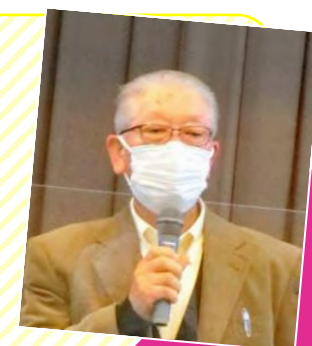
- 第1回：2020年9月27日開催／テーマ：地域の資源（魅力）を知ろう！
- 第2回：2020年11月8日開催／テーマ：地域振興のターゲットを考える
- 第3回：2020年12月13日開催／テーマ：青根地域をもっと面白くする企画を考えてみましょう！
- 第4回：2021年3月28日開催／テーマ：青根地域をもっと面白くする企画を発表し合いましょう！

第4回ワークショップの概要

- 開催日時：令和3年3月28日(日) 10:00～12:30
- プログラム：
 1. 開会あいさつ
 2. 今年度検討のふりかえり
 3. 各アイデア企画のポスター観覧・コメント
 4. 全体ポスターセッション（プレゼン&意見交換）
 5. 総括・今後の動きについて(市より)
- 場 所：旧青根中学校体育館
- 参加者：青根地域にお住まいの方、青根地域の関係者の方 計31名

青根のまちづくり検討委員会 関戸会長あいさつ

いよいよ4回目です。ここまでご参加いただいたみなさん、ご協力いただいたみなさん本当にありがとうございました。これからが本番です。ヒト、モノ、カネの3つを確保しながら持続可能な地域を目指して、地域のみなさんで引き継いで頑張っていきたいです。



当日の意見から
一部ご紹介
します！

- ✓ コーディネーターがいるといいね！
- ✓ ミニコミ誌と組み合わせたら良さそう！

Project No.

6

過疎で不便な青根地域を活用! 滞在&体験型テーマパークプロジェクト

3
班

1. プロジェクトの目的 (なぜ?)

①プロジェクトによって実現したい人

青根地域を訪れる人
・移住者

②プロジェクトによって実現したい環境

体験型テーマパーク
過疎で不便な青根地域を活用し、
滞在してもらえる青根地域

- (きっかけ・課題) 青根地域は、自転車、バイクなど多くの車両が停泊していますが、滞在することなく通過してしまっています。一方で、コロナ禍もあり過密な都市部より豊かな自然環境を求めニーズは増えています。
- (趣旨) そこで過疎で不便なことを生かした自然体験や青根ならではの食の提供等を通じて、青根地域への滞在を促進するプロジェクトを提案します。

2. プロジェクトの内容 (何をする?)

① 活用するもの

- 旧青根中学校 (拠点として活用)
- 山 (森林)、川
- 田畑 (休耕田など)
- いやしの湯、休暇村センター

×

=

② 誰が

地域住民と民間企業の連携

- 地元の人を中心に!
なるべくたくさんの方が関わる

+

- 民間事業者

③ すること

- 宿泊施設を開設します。
- 提供サービス:

- ✓ 郷土料理を提供する食堂
⇒ 青根のうどん、山菜、
地場果実・野菜、給食風料理
- ✓ 直売所での地場果実・野菜の販売
- ✓ 鳥獣(イノシシ・シカ)の加工・販売

- 利用シーン:

- ✓ 合宿 (部活・会社研修)
- ✓ ワケーション・キャンプ
⇒ 平日の中長期滞在が期待できる
⇒ 豊かな自然環境を活用した研修
プログラム等を実施
⇒ 地域の利益UP

6
班

Project No.

5

青根コーディネートプロジェクト

2
班

1. プロジェクトの目的 (なぜ?)

① プロジェクトによって暮らせたい人

地域で活動している人

② プロジェクトによって実現したい理想

地域の想いが一つになった、
安心して住みやすい地域

- (きっかけ・課題) 青根地域には複数の施設や活動団体がありますが、それぞれが個々に活動をしており、方向性の統一や連携ははかれていません。地域振興のためには、施設や団体が共通の地域目標に向かって努力するための連携が必要であり、そのためには地域全体をコーディネートするリーダー的な存在が必要です。
- (趣旨) そこで、個々の施設や活動団体をとらめ、地域全体をコーディネートする体制づくりを提案します。

2. プロジェクトの内容 (何をする?)

① 活用するもの

- 個々に点在している地域の施設 (キャンプ場、温泉施設、など)
- 地域内外の活動団体

地域を魅力づける施設やひと

② 誰が

- 施設の事業者
- 地域で活動しているひと

学び意識のある人

③ すること

- 地域全体をコーディネートし、共通の目標に向かって地域一丸となって取り組む体制をつくります。

青根の目標

- ・青根が目指す方向性の決定・共有
- ・施設や団体の窓口・連絡・調整
- ・青根地域全体のPR活動

同じ方向性

- ・地域内の既存施設や団体
- ・地域内外の活動団体
- ・新たに青根で活動したいひと

✓ 地域全体の統率をとるコーディネーター (リーダー的組織) を配置

✓ 地域共通の目標に向かって、各施設・団体の取組みや運営を行い、関係者が一丸となって地域を盛り上げる

- 外から訪れた人が、目的達成以外に +α で何か楽しんでかかってもらえるような支援をします。

- ✓ 地域を知ってもらうための施設マップ、共通チケットの発行など

Project No.

1
班

ミニコミ誌で 笑顔がつながる青根プロジェクト

1. プロジェクトの目的 (なぜ?)

①プロジェクトによって書ばせたい人

地域に住んでいる人

②プロジェクトによって実現したい理想

みんなが笑顔で住める地域

- (きっかけ・課題) 青根地域は人柄の良い人が多く、とても魅力的な地域で、住み続けたいと感じています。しかし、子育てをする世代にとっては、学校が遠かったり、知り合いが少なかったりと、地域で子育てをしにくい環境とも言えます。
- (趣旨) そこで地域のみんなが笑顔で住み続けられる地域を目指して、ミニコミ誌を発行し地域の方の顔が見える関係づくりを促進するプロジェクトを提案します。

2. プロジェクトの内容 (何をやる?)

① 活用するもの

- 青根地域の自然
- 青根地域の歴史
- 青根地域に住んでいる人

青根にある魅力全てを記事としてまとめ発信したい!

② 誰が

- 地域の住民

- ・写真を撮るのが上手な人
- ・インタビューするのが得意な人
- ・文章にするのが得意な人

- 法政大学多摩地域交流センター学生
- ・取りまとめるのが得意な人

得意で意欲を持った人を募る

③ すること

- ミニコミ誌を作成し発行します。
Webも同時公開。
- タイトル案:

青根コミュニティ誌
「A1 (エーワン)」

青根の「A」と、良いという意味の「ええ」をとり、地域を一つにしたいという思いからワンをつけました。

- 掲載情報

- ✓ 青根人：住民インタビュー (こんな人が暮らしてるよ！情報)
- ✓ 新しく移住してきた人の紹介 (はじめまして情報)
- ✓ 地域の方のお誕生日お祝い
- ✓ 空き家情報
- ✓ リサイクル情報 (こんなの要りませんか？ こんなの持ってませんか？ 情報)
- ✓ こんな農産物採れたよ！
- ✓ 地域のお祭り・行事 などなど

19個の企画案をもとに、
実際の地域での取り組みへと
つなげていきます！

①

青根地域の4th

これからは話合おう!!

2021年 3月28日 (日)

1. あいさつ
2. 今年度検討のふりかえり
3. 各班とバブル確認
4. 他の班のポスター観覧
5. ポスターセッション
6. 総括

ふりかえり

今日しくぐりの会

金曜ポスター19時

ふりかえり成果!

細い心 傷み強い

持続可能性を高めるまちづくり

お話をきく

どうなる?

E1 E2 E3

E1が動くものから考えよ。考えよう!

三政大学 青根で授業ある!!

求むといふ

学生は

地域と学生

一緒に取り組んでいます

②

8班 青根を動かす!
 1. 住人仕事を見る!!
 2. 温泉、間伐材、木材
 3. 工場に入る人達!!
 4. エネルギー
 5. 若者がかわる新文化
 6. 住まい、エネルギー、環境
 7. 山の木材で国をつくる!
 8. 地域の特長を伝えていこう!!
 9. 地域を活性化しよう!!

6班 地域エネルギー、倉庫プロジェクト
 1. 持続可能な地域エネルギー
 2. 水、木、森、バイオマス

5班 18 青根中を活かして拠点作り
 1. テレワーク推進
 2. 青根中、農地を活用しよう

4班 移住手段を解決するプロジェクト
 1. 困難はたくさんあるが、ぜひ取り組むことに
 2. 交通、移住、お祭り課題と考える!

③ 3班 滞在&体験
テーマパーク名以外

お金の
不便さを
利用しよう!



+ つかおう!

青根中活用? (知識)

問題はお金! 心から喜ぶ?

外での青根に活用しよう!

移住を
考えて!!

曲が地域に
住みたい!!

ひとつは実現できよう!

② 2班 青根ユースホステル名以外



何に向いて活動できる??

☆話し合える場☆ 交流!!

① 1班 ミニコミ読と笑顔が
つながる名以外

・地域の人の顔が見えるバリエイ.

・移動する

・移動率

・地域の本につながる

・つながる